

岡崎市議会議長 様

支出番号	9
------	---

会派名 自民清風会  
代表者名 加藤 義幸



下記のとおり、政務活動を実施したので報告します。

## 政務活動旅行報告書

令和元年 12月 27日提出

活動年月日	令和元年 7月 29日 (月) ~ 7月 30日 (火)	
氏名	野本 篤	
用務先 及び 内容	1	用務先 滋賀県 大津市
	7月29日	内容 令和元年度 市町村議会議員研修2日間コース [自治体予算を考える]
	2	用務先 滋賀県 大津市
	7月30日	内容 令和元年度 市町村議会議員研修2日間コース [自治体予算を考える]
	3	用務先
		内容
	4	用務先
		内容
備考		



# 政務活動旅行報告書

報告者 野本 篤

## 研修概要

研修名：市町村議会議員研修〔2日間コース〕自治体予算を考える

日 程：2019年7月29日（月）～7月30日（火）

場 所：全国市町村国際文化研修所

滋賀県大津市唐崎2-13-1

## 研修のねらい

地方議会は、広く住民の意見や要望を把握し、議論することにより、住民の未来を想像する役割を担っている。

地方の財政状況が厳しくなる中、住民の代表として一番身近な存在である地方議会は、まちの財政状況や施策を把握し議論することがますます重要となってきた。

議員が行政と共に市民のための予算を作成するにあたり、必要な知識と視点を身につける。



## 研修のポイント

- ・自治体予算の原則・制度、歳入歳出予算の基本的事項やチェックポイントについて学ぶ。
- ・財政診断をもとに、持続可能な財政運営方策について考える。
- ・地方公会計の基本的事項を理解し、その活用について学ぶ。

## 研修概要

講師： ████████ 氏

関西学院大学法学部・大学院法学研究科教授

講義①自治体予算の原則について

講義②歳入および歳出予算の基礎と、そのチェックポイントについて

講義③財政の現状把握（地方公会計の活用）

講義④参加議員との意見交換



## 考 察

講義①では、自治体予算の原則として、基本的な意義と当初予算から決算までの流れ、予算書の読み方を学んだ。また、予算の執行にあたり議会および議員による議決権や修正権の重要性を学ぶ。

講義②では、歳入における自主財源と一般財源の違いと中身、地方税の現状と地方交付税と臨時財政対策債の仕組みを学び、歳出として義務的経費の内訳

として人件費・扶助費・公債費の説明を受けた。また、事例を基に決算の仕組みと流れを学ぶ。行政事務は発生主義であることから決算時期の遅れを理解する。

講義③では、財政の現状把握をするため、財政状況資料集を基に、基本的な項目の説明を受け、財政診断のポイントを学ぶ。また、地方公会計について、地方公共団体と民間企業との会計の基本的な違いの説明を受けた。民間人にとって、公会計が親しみやすいということで整備が急がれたが、企業の利益を重視した会計と地方公共団体の発生主義による会計では根本的に考え方が違うことから困難である。また、地方公共団体における資産には道路から公園まで金額に換算することが困難であり、精度の低さが否めない。

講義④では、全国から参加された市町村議員の皆さんとの意見交換が行われた。それぞれの自治体規模の違いがあり、また財政力の違い、議会の取り組み方など様々であり、参考になる意見交換であった。その中で印象的であったのは、岡崎市では決算審議の際に、成果について問うことはあっても、その成果をふまえて、先の取り組みについての質疑は、暗に禁止されている。このことは参加された他の議会議員にとっては不可解であり、議会改革の必要性があることを指摘された。

今回、二日間の研修において、自治体財政の基本を学ばせてもらったが、まだまだ復習が必要であり、己の勉強不足を痛感する研修であった。